

2年生学年通信 枚方市立長尾中学校

令和6年(2024)

1月31日(水)

Harmony

第17号

### 毎日を大切に。今できることをしっかり取り組もう!

がたた。 元旦に起こった『令和6 年能登半島地震』は、甚大な被害をもたらし、被災状況も、まだ 全貌が把握できていません。一日も早い復旧・復興を願うばかりです。いつ、どこで起こるか わからない地震。「防災」について、いざという時どう行動するか確認し、備えをしておきたい ですね。地震から明白で 1か月。被災地では、少しづつ復興に向けて動き始めています。

ねたちにできることはないか、考え取り組んでいきたいですね。

### 進路学習に取り組みました。

#### ねんせい がっき 3年生へのウォーミングアップ!

新年に当たり、「今年はこれを頑張る!こんな 1年にする!と、目標や抱負を考えたと思 います。そして多くの人が「4万から 3年生。受験がある」と気を引き締めたのではないでしょ うか。今週から進路学習が始まりました。

しんる 進路とは自分の進んでいく路(道)のこと。進路学習では、みなさん一人ひとりがこの先どん な人になりたいか?また、どんな生き方をしたいか?について着えていきます。将来の自分 を考えたときに、中学校卒業後は進学の道を選ぶ人も多くいるでしょう。進学について、1 なが、しりっこうこう、こうりっこうこう 年間のおおまかな流れ、私立高校や公立高校などに関する具体的な学習も進めていきます。

4月からの1年間、何か特別なことが始まるわけではありません。今まで、私たちが取り組ん

けていくだけです。

3学期、代議員が中心となり「M1 グランプリ」

に取り組みました。4月に考えた「学級目標」は ひで 日々の生活の中心にありますか?

2年生はあと 2か月。「3年になったらがんばる」ではなく、4 月、いいスタ ートを切るために今からしっかりウォーミングアップしていきたいですね。

できた日々の授業、クラスの取り組みを大切にすることを、これからも続



「ペンかいきさらぎ まいこ」 別名如月。英語では February。なぜ 2 月だけ 28 日と 短 いのでしょうか?それは、暦 がどのようにできたのかと深い関係があります。 そして、4年に一度だけ、「29日」まである年があり、その年のことを『うるう年』といます。2024年の予年が、その『うるう年』です。 たいます。 たいよう またり またり まる 365 日かけて回っていますが、4 年の間に 1 日分だけ『ズレ』が起こります。 そのために、4 年に 1度、2 月の日数を 1 日参くして 29 日にしたのだそうです。太陽がプレゼントしてくれた1日を、どう楽しみましょうか?





牛教育





\*3年生を送る会 3月5日(火)5限

\*卒業式予行準備 3月12日(火)

\*卒業式 3月13日(水)

\*一般入試合格発表 3月19日(火) \*修了式 3月22日(金) しゃ **計** 

# 1月1日午後4時10分ごろ、石川県能登半島で さいだいしんど ゆ かんそく じしん おきました 最大震度7の揺れを観測する地震が起きました。









地震被害の珠洲市と能登町 ちゅうがくせいやく かなざわし しゅうだんひ なん 中学生約 1 40 人 金沢市に集団避難 2024年1月21日19時17分

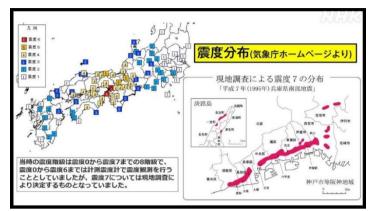
石川県は28日、能登半島地震による住宅被害が新たに386棟確認され、4万3766棟になったと発表した。前日から七尾市で148棟、珠洲市で82 たまできまかしたほか、輪島市や羽咋市などでも増えた。断水は輪島市や珠洲市などのほぼ全域で継続し、県全体では影響が4万2千戸を超えている。

県が災害関連死とした15人を含めて、死者数は236人。連絡が取れない 安否不明者は19人で、いずれも27日から変動はなかった。

ひ なんしゃすう まん せんにん い じょう のぼ **避難者数は1万4千人以上に上る。** 発育通信 | 2024年1月28日 17:00

### 1995年1月17日午前5時46分

## はんしん あ む だいしんさい **阪神淡路大震災**







版神淡路大震災から 29 年となった神戸市。 ついとうかいじょう ひがしゅうえんち 追悼会場の東遊園地には「1995ともに 1・17」の すったうかび上がった=2024年1月17日午後5時34分

1月17日 6434 人が亡くなった阪神淡路大 になった。神戸市中央区

の東遊園地では、同日早朝から「阪神淡路大震災1.17のつどい」のために用意された
竹灯籠や紙灯籠にロウソクに火が灯された。1.17のつどいは、1995年1月17日に
発生した阪神淡路大震災で亡くなった人たちを追悼するとともに、震災で培われた
「きずな・支えあうぶ」「やさしさ・憩いやり」の大切さを次世代へ語り継いでいくため
の追悼行事として行われている。今年も15日からボランティアを中心に準備が進められ「1995」「ともに」「1.17」という支字になるように竹灯籠や紙灯籠が並べられた。「ともに」という言葉は公募で選ばれており、能登半島地震の被災者への憩いも込めら



れているという。東遊園地では同日午前5時ごろから参くの人が訪れ、ロウソクに火を灯した。震災の発生時刻である同日午前5時46分が近づくとスピーカーから時報音声でが流れ、集まった人たちが静かに首を閉じ、手を合わせて犠牲者への黙祷をささげた。